

学校長あいさつ

明野小学校長 清水 潤

朝日に映える茅ヶ岳、夕日を背にそびえ立つ南アルプスの山々、凜とした冬の八ヶ岳など明野小学校から見える景色は格別です。また、明野町は、日照時間日本一の自然環境を生かした「サンフラワーフェスタ」や茅ヶ岳山麓で栽培されたダイコンを収穫する「浅尾ダイコンまつり」が有名で、毎年、県内外から大勢の観光客が訪れます。

明野小学校は昭和50年4月1日に、朝神、上手、小笠原の3つの小学校が統合し、明野村立明野小学校としてスタートしました。その後、7つの町と村が合併し、平成16年11月に、北杜市立明野小学校となりました。開校当時は、400名を超える児童が在籍しましたが徐々に減少し、今年度の児童数は190名となっています。

学校経営方針の柱は、「よりよい自分を創る」～仲間との学び合いを通して～です。どの子も自分の良さを伸ばし、高めていけるよう学校・保護者・地域の連携を密にした学校を目指します。また、生徒指導については、「気持ちよいあいさつと言葉づかい」「無言清掃」「時間を守り静かに集合」を重点目標に掲げ取り組んでいるところです。

校内研究では、前年度までの研究を踏まえ、主体的、対話的で深い学びの実現を目指し、「聴いて 考えて つなげる」授業の創造に取り組んでいます。温かく聴き やさしく話すを基本とする学び合いの実現がこれからの社会を生きる子どもたちに必要な力を育てていくのではないかと考え、授業改善に努めています。

保護者や地域の方々から信頼され、地域コミュニティの核となれる学校を目指し、全職員一丸となって「チーム明野」で取り組みます。

